

(国語科説明文)

**自分の考えを進んで表現する児童の育成**  
**～言葉による「見方・考え方」を働かせる授業展開の工夫～**

大阪市立大開小学校 研究部

### 1. 研究主題設定の理由

本校では「書くこと」における数値に課題が見られたため、令和2年度より研究主題を「自分の考えを進んで表現する児童の育成～国語科における「書くこと」の指導を通して～」とし、国語科の説明文を中心に研究を進めてきた。

研究を継続してきた結果、令和3年度の「書くこと」についての正答率はすべての学年において市平均を上回る結果となったが、「目的に合わせて自分の考えを書く」ことや、「読むこと」において、「段落の内容」「文章の構成」「情報と情報の関係を理解する」に関する問題の正答率が低い傾向があることが分かった。

以上のことから、より深い読みの力を身に付けさせ、その「読み」から「書く」へと繋げていくことができる力を身につけさせていくことが必要であると考えた。そこで、今年度より、研究主題の副題を『言葉による「見方・考え方」を働かせる授業展開の工夫』と変更し、研究を進めることとした。

### 2. 研究の趣旨

小学校学習指導要領で提示されている「見方・考え方」という視点に着目することにした。

児童が教材文に対して「見方・考え方」を働かせることができる授業を継続し、どんな教材に出会っても自力で解決していける「読む力」を身に付けさせていく。そして、その力を書く活動に転化させていくことで、「書く力」も同時に向上させることを目指す。

### 3. 研究の概要

研究主題にせまるため、5つの研究の柱を設定した。

#### 視点①説明文の系統指導表に沿った学習

児童に「何を教えるのか」に焦点を当てる。教えなければいけないことと、使いこなせておかなければいけない既習事項を明確にし、児童にとっても教員にとっても無駄のない授業を目指す。

- 「大開説明文系統指導表」の作成    ○ 獲得させたい「見方・考え方」の明確化
- 言葉の力や用語の習得

#### 視点②「見方・考え方」を働かせる授業展開の工夫

児童が意図的に言葉に注目し、思考を働かせるような授業展開を行うように、研修会、教材文分析、指導案検討などに力を入れる。

- 研修会の充実    ○ 教材文分析会の実施    ○ しかけ、発問を意識した教材研究

#### 視点③考えを深めたり広めたりする学習形態の工夫

- まなボードを使った話し合い活動の充実    ○ 効果的なワークシートの活用

- 効果的な ICT の活用
- 意図的にメタ的視点を持たせるための活動を設定

#### 視点④「読むこと」と「書くこと」を繋げた活動の設定

第2次では、筆者の文章の書き方を読み深めながらインプットを図りつつ、適宜書いたり話したりする活動を取り入れる。第3次では、第2次で学習したことを、アウトプットしていく。

研究授業では本時を第2次に設定し、同学年のもう一方のクラスで第3次を研究部内授業として行う。毎回、授業の後に討議会を行い、成果と課題の共有を図る。

#### 視点⑤学習習慣の定着を図る活動

- 継続的な作文、日記指導
- 大開漢字検定、日本漢字能力検定
- 朝学習の習慣化
- 読書通帳
- 読書ノート
- 大開書店の発行

### 4. 研究の成果と今後の課題

#### (1) 研究の成果

##### ○説明文系統指導表に沿った学習

「つきたい力」や学年間のつながりが明確になり、国語科における系統的指導や議論が行われるようになった。

##### ○「見方・考え方」を働かせる授業展開の工夫

単元や教材の意図を指導者側が明確にもち、児童の学習意欲を喚起する授業展開や言語活動の設定をすることができた。

##### ○考えを深めたり広げたりする学習形態の工夫

多様な手立てを組み合わせるなどして効果的に取り入れたことで、話し合いが活発になり、考えを深めたり広げたりすることができた。

##### ○「読むこと」と「書くこと」を繋げた活動の設定

第2次で獲得した読む力を第3次の書く活動に繋げる流れは、書くことに対する抵抗を弱め、筆者の論の型に倣って書くことができる児童が増えた。

##### ○学習習慣の定着を図る活動

様々な活動が相互に作用し、主体的に学びに向かう態度が多く見られるようになった。

#### (2) 今後の課題

##### ○「言葉による見方・考え方」の捉え方が人によって様々で、今年度は探りながら進めてきた。引き続き、研究を進めていく。

##### ○説明文系統指導表は、読みの技能や言語活動については改善の余地がある。

##### ○教員の指導力の向上を図ることが大切である。校内研修を充実させるとともに、研究授業のあり方や討議会の進め方を探っていきたい。

##### ○読む力が身についたかどうかは、今年度の大阪市小学校学力経年調査の結果等を分析する必要がある。そして分析結果から明らかになった課題の解決へ向けて今後も指導を継続していく。